

日時:2017年7月21日(金)10:00-16:30
会場:北海道大学クラーク会館講堂

東アジアにおける 新たな教育思想の展開 —Social Pedagogyとの関連で—

本シンポジウムはHokkaido Summer Institute : New dimensions of Social Pedagogyの一環としても開催されます

Social Pedagogyは北欧を中心に、社会的なケアや福祉的支援が必要な子ども・若者に対する教育的支援の実践と理論として発展してきました。最近では、学校的な教育とは異なる教育概念としてイギリスや北米でも関心を呼んでいます。

日本や韓国では、同様の課題に取り組む実践を基盤に、新たな教育概念・教育思想が形成されつつあります。このシンポジウムでは、Social Pedagogyを媒介にして、ヨーロッパ・北米・東アジアにおける新しい教育思想を比較しつつ、今後の国際共同研究の可能性を探ります。

臨床教育学とSocial Pedagogy 田中孝彦(日本臨床教育学会)



韓国における教育福祉論の展開 李正連(東京大学)

地域社会教育学としての Social Pedagogyの展開可能性 宮崎隆志(北海道大学)



コメンテーター

Juha Hämäläinen (University of Eastern Finland, Finland)

Daniel Schugurensky (Arizona State University, USA)

指定討論者

Jung, Min-Seung (Korea National Open University, Korea)

肖蘭(北海道大学)

司会

辻智子、白水浩信(北海道大学)

使用言語:日本語・英語(通訳あり)

参加費:無料

事前申し込み:7月10日(月)17:00まで

(HSI受講者および同時通訳レシーバー不要の場合は申し込み不要)

申し込み先:子ども発達臨床研究センター sawamura.sumiko@edu.hokudai.ac.jp

(*を@に変えてください)

主催:北海道大学教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター